

令和7年度第2回町民討議会の意見への回答

(令和8年3月現在)

担当課：都市整備課

公園は、自然や運動に親しめる施設として多くの町民にうるおいとゆとりの空間を提供しています。

都市整備課では、公園の規模や配置されている施設によって草木の除草剪定や遊具施設の点検補修、トイレ施設の清掃などの維持管理を行っております。

また、平成25年度から施行している公園緑地里親制度により53箇所の公園において、地域の皆様に里親として除草や清掃活動を行っていただいております。

今回のご意見を参考にさせていただき、公園をさらに利用しやすく、楽しんでいただけるよう、引き続き改善に努めてまいります。

なお、いただきました意見への回答を以下に記します。

1.誰もが使いやすく、安心して利用できる環境の向上
トイレや水道の整備、福祉施設・児童施設の併設など、基本施設を充実させる
公園内にトイレや水道を整備することは、利用する方の衛生面、快適性の向上につながりますが、整備費用や維持管理費に多額の費用を要することから、町の財政状況を踏まえ検討してまいります。また、公園に福祉施設や児童施設を併設することは、地域コミュニティの形成や多世代交流の促進に貢献しますので、今後の公園整備において、貴重なご意見として参考とさせていただきます。
防災拠点として手動ポンプ井戸やかまどベンチを設置する
阿見町地域防災計画において、防災公園として位置付けている曙ふれあい公園は、手動ポンプ井戸やかまどベンチが設置されております。この他に本郷近隣公園が位置付けられており、今後、一定規模の公園を整備する際には、町内のバランスを考え防災対策を検討してまいります。
防犯カメラやAI アラームシステムの導入により安心感の向上を図る
公園利用者の安心・安全の確保のために、防犯カメラやAI アラームシステムを駆使した防犯対策について、貴重なご意見として調査検討してまいります。
施設の耐用年数をデータベース化し、計画的な維持管理を行う
公園に設置されている遊具やベンチ等の施設は、年1回の法定点検を行っております。その判定結果によって補修等の対策を実施しておりますが、施設等をデータベース化し計画的に維持管理を行うことは、業務の効率化や適切な予算管理のためにも有効な手段と考えますので、調査研究してまいります。

<p>2.阿見町らしい魅力と楽しさの創出</p>
<p>町の特徴を生かした公園設置基準を整備し、人と自然が循環する公園づくりを進める (例：太陽光や風車の活用、親水公園やビオトープの整備、季節の花木の植栽)</p>
<p>公園は、自然や運動に親しめる施設として多くの町民にうるおいとゆとりのある空間を提供しております。町の特徴を生かした公園や人と自然が循環する公園づくりについては、近隣住民参加によるワークショップでの意見も取り入れ、調査検討し、魅力ある公園づくりに努めてまいります。</p>
<p>「アミラ」を全公園に展開し、親しみと愛着を育てる</p>
<p>「アミラ」は、阿見町よしわら区画整理事業のシンボルキャラクターとして誕生しました。現在は、よしわら地区のいくつかの公園に設置されており、近隣住民の方に親しまれていますが、町内の全公園へ展開するには「アミラ」の認知度のさらなる向上に今しばらくの時間を要すると考えられますので、この度のご提案につきましては、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>
<p>年代別ニーズに応じた遊具整備と公園活用を進める (例：子育て世代向け遊具の整備、高齢者向けの農業公園としての活用)</p>
<p>現在、新たに公園を整備する際には、近隣住民参加のワークショップやアンケートを実施し、公園の利用方法や整備施設等についてご意見を頂きながら、整備を進めているため、多様なニーズに応えることも可能となっています。</p>
<p>同時に、費用対効果及び維持管理費の抑制も検討していかなければなりません。現在は公園の設計から維持管理運営まで企業等に携わって頂く官民連携事業等を活用した事例もあることから、当町においても官民連携事業の検討も含め利用者のニーズに応えられる公園づくりに努めてまいります。</p>
<p>「楽(楽しむ)」「話(交流する)」「食(飲食)」「鑑(見る・学ぶ)」をコンセプトに、中央公園とサテライト公園を作る</p>
<p>一貫したコンセプトを基に、公園を作ることは、非常に魅力のある空間づくりにつながりますので、公園を整備するうえで、貴重なご意見として参考とし、皆様が楽しめる公園づくりに努めてまいります。</p>
<p>3.人が集い、公園を活用したくなる仕組みをつくる</p>
<p>イベントの実施や交流・賑わいを生み出す環境を整える。 (例：キッチンカーの出店、ドッグランの設置、フリマ、区の部会行事など)</p>
<p>キッチンカーの出店や区の部会行事などは利用申請を提出いただくことで実施が可能です。また、飲食を伴うイベントの開催は交流を図るうえで効果的な事業ですが、イベント開催時の安全確保および事後の清掃管理等について検討の余地があることから調査研究に努めてまいります。</p>

公園情報とニーズを整理・分析し、SNS 等で利用価値を可視化・発信する
<p>様々な方のニーズに沿って公園を利用しやすくするため、公園の情報を可視化及び発信することについて、調査検討してまいります。</p>
クラウドファンディングを活用し、公園の維持管理と改善を進める
<p>公園を利用する方が安全で快適に過ごせる環境を保つための公園の維持管理は、遊具施設の点検、修理、植栽管理など多岐にわたり、多額の費用を要しております。</p> <p>不特定多数の方から資金を調達する仕組みであるクラウドファンディングの活用について、今後の公園管理のあり方を検討する中で、調査研究してまいります。</p>
住民参加型の管理運営で、インクルーシブな公園づくりを推進する
<p>(例：里親制度の周知、みどりのカーテンの育成活動、ボランティア活動の実施)</p> <p>本町の公園緑地里親制度は、除草や清掃等の活動を通じ、公園に対する愛着心の向上や近隣の住民の方の良好なコミュニティの形成に寄与することから、さらに周知してまいります。また、公園整備の際には、住民参加型のワークショップの開催や維持管理運営を担う民間連携事業の活用等について、検討を進めていくとともに、バリアフリーや誰もが遊べる遊具の設置、多様な利用者の方へ配慮し、すべての人が一緒に安心して楽しめる公園づくりについて、今後の公園整備の際に検討してまいります。</p>